



柔道視察・指導

マルハバン。キューフ ハールク？

2月3日～9日、フジェイラ、カルバ、フォアフアッカン、シャルジャに月1で行う、視察・柔道指導に行ってきました。

将来を見据え、柔道の発展を目指し始めております。元々、UAEの選手は試合結果だけで決められていました。しかし、私が来てからは各道場を回り、試合の結果と踏まえ選手を決めています。上の写真は、カルバに指導に行った時の写真です。

このカルバチームの道場は、とても汚く、畳は汚れ、飲んだ後のペットボトルの上で柔道をやっているような場所でした。しかし、コーチ陣・選手と話し合い、改善を図ってきました。今では、試合場でゴミを拾う選手も出てきています。私が来た当初とは見違えるくらい顔つきが変わりました。

練習時に、選手は真剣な顔で汗をかき、沢山質問に来ます。私の指導もやはり他とは違う緊張感をもって指導に挑みます。時間を見ると既に2時間近く柔道をしていることが多々あります。UAEの中でも柔道に対しての意識が高いようにも思えます。私がアラビア

— 出来事 —

- 3月17日～19日、Arab Championship, Egypt に参加します。
- 4月1日～16日、Asia Cup, Uzbekistan に参加予定です。
- アブダビ日本人学校での1年間の柔道クラスが終わりました。日本人学校の先生より、新学期も導入していきたいということで、柔道授業の継続が決まりました。引き続き、SIJEより支援いただきました柔道着を使用させていただきます。

今月のアラビア語

「アナ アズハブ イラドバイ」

意味：私はドバイに行く。

شكرا

シュクラン日記

3月号

語を流暢に話せばもっと深く教えることができるのですが、どうしてもコーチを通して伝えてしまいます。片言どころか、英語大半で意味の分からない単語を発しているだけなので、私自身も何を伝えているのか分からなくなることがあります。まだまだ教えたいことが多くありますが、指導というのは難しいです。



カメラを向けられたので、思わずポーズしました。恩師であります、上水研一朗監督を意識しております。早くこの立ち姿が似合うようになりたいです。



4日間の視察・指導を終え、シャルジャククラブに移動し、2日間指導してきました。

シャルジャククラブは礼儀正しい選手が多く、表現が合っているかはわかりませんが、大変指導がはかどります。難しいことと言えば、年齢の差が大きいです。写真を見てもらうとおわかりになると思いますが、大小います。

この時は、下は6歳、上は17歳と約10歳の差がありました。10歳差を考えてやる練習は今でも慣れません。とても楽しいですが、同時にとても難しいです。練習にメリハリを付け、何とか毎回やり遂げていますが、練習ごとに多くの課題が残ります。も

っと良い練習ができるのではいつも考えていますね。

この様に、約月1回各道場を回ることで、いつ、どこで、何を、誰が、どのようにやっているのかが見えてきました。視察に行っているからこそ見える短所と長所、自分自身改善点など、色々な角度からの視点で動けるようになってきました。少しずつ、ではありますが発展に向け進んでおります。

昇級試験

2月1日木曜日、Titan Sports Academyにて昇級試験を行いました。5人の昇級者が試験を受けました。海外では昇級というより、昇色と言いますか、色でレベル分けをします。白、黄色、オレンジ、緑、青、茶、黒。今回は、二人が黄色に昇格、残りの三人は、オレンジ、青、茶色に昇格しました。



(UAE柔道連盟 原口直也)